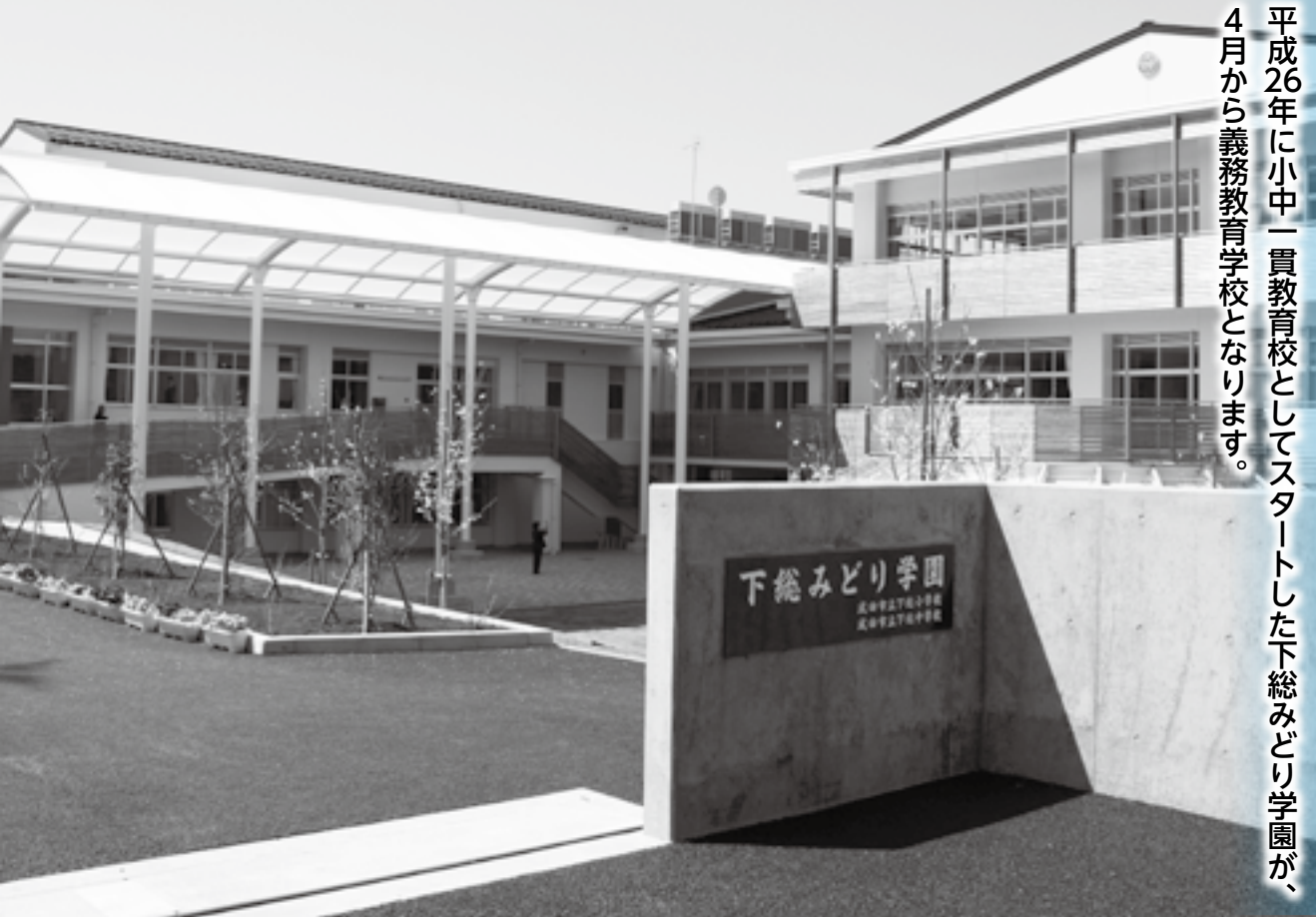


# 義務教育学校に変わります

平成26年に小中一貫教育校としてスタートした下総みどり学園が、4月から義務教育学校となります。



## 義務教育学校とは

小中学校9年間の義務教育を一貫して行う、新しい種類の学校です。学校教育法の改正により平成28年に新設されました。9年間を通じた一貫性のある教育課程を編成します。

小学校に当たる前期6年、中学校に当たる後期3年の課程に区分され、基本的にはそれぞれ、小学校や中学校の学習指導要領が準用されます。

平成28年度は全国で22校が設置され、29年度には39校が設置される予定です。

## 義務教育学校の狙い

### 中1ギャップの解消

小学校から中学校に上がるとき、学習面や生活面、人間関係などでの大きな変化「中1ギャップ」に直面し、中学校になじめず、不登校になってしまう子どもが少なくありません。

義務教育学校では、学習のカリキュラムがひと続きになっていて、日頃から前期課程(小学校段階)と

後期課程(中学校段階)の子どもで交流があるため、移行がスムーズに行われます。

### 子どもへのきめ細かな対応

小中学校段階の垣根を越えて、教員同士の情報交換がしやすくなります。そのため、子どもの学習状況や特性などが共有されやすく、適切できめ細かな対応につながります。

これは学力面だけでなく、生活面でも役立ちます。

### 小中学生の交流

下級生は、上級生を見て憧れや尊敬の念を抱き、模範とすることで、高い能力を養えます。

上級生は、下級生から頼られたり慕われたりすることで、責任感が芽生え、リーダーシップを養えます。

## 下総みどり学園では

### 26年から小中一貫教育

平成26年4月に下総小学校が下総中学校の敷地内に開校して以来、「下総みどり学園」として、小中一貫教育を展開してきました。その特徴は次の通りです。

平成26年4月に開校した下総みどり学園

## 下総みどり学園ならではの光景



体育祭

1～9年生が合同で取り組む種目を取り入れています。応援団長を中心に学校全体が一つになって盛り上がります。



全校遠足

1～9年生の縦割り班で遠足に行きます。

年度初めは、上級生が下級生を毎日迎えに行きます。ほうきや雑巾の使い方、清掃の手順などを上級生が指導します。



縦割り清掃



部活動

5年生から部活動が始まります。4月には、上級生による部活動の紹介があります。

生徒会活動も、5年生からの参加となります。生徒総会、生徒会役員選挙にも参加します。



生徒会活動

前期				中期			後期	
1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年
基礎基本の定着期 学級担任制				基礎基本の定着・ 活用期 5・6年…一部教科 担任制 7年…教科担任制			充実・発展期 教科担任制	
<b>全ての教員が全ての児童・生徒に関わり、 連続した学びを実現</b>								

- 授業時間は原則として、1～4学年は45分、5～9学年は50分とする
- 1時間目、3時間目、清掃時間の開始時刻を合わせ、縦割り活動や教科担任による授業を実施する
- 校長を1人、職員室を1室とする。教員は在籍児童・生徒数に基づいて小学校と中学校にそれぞれ配置するが、小中学校が同じ教育目標・方針の下、全ての教員が小中学校の垣根を越えて児童・生徒の指導に当たる
- 学年区分を3区分(前期ブロック・1～4学年、中期ブロック・5～7学年、後期ブロック・8～9学年)とし、前期ブロックは基礎基本の定着期、中期ブロックは基礎基本の定着・発展期に位置付ける
- 中期ブロックから段階的に、教科担任による授業を行う
- 学校種の特性を生かし、全校児童・生徒による学校行事や特別活動に取り組む

### 義務教育学校へ移行 「こころが変わります」

#### 下総みどり学園が正式名称に

これまで、学校の正式名称は下総小学校、下総中学校でした。「下総みどり学園」は通称名でしたが、4月から正式名称となります。

#### 6年生の卒業証書が修了証書に

これまで、6年生と9年生に卒業証書を渡していましたが、今後は、6年生には卒業証書に代わる修了証書が授与されます。

#### 教員が1～9年生で担任可能

「相当免許状」を所有していれば、小学校の教員が後期課程で、中学校の教員が前期課程で担任をすることが可能になります。例えば、6年生の担任が7年生でも引き続き担任をすることがあります。

※くわしくは学務課(☎20・1581)へ。